

令和7年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立志茂田小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・音楽会の練習を通して、より良い演奏のために話し合うなど、対話力を身に付けることができた。
- ・音楽記号について、繰り返し確認をすることにより知識が定着し、読譜力が上がった。

(2) 課題

- ・歌唱で裏声を発声する際、声量が小さくなってしまう。
- ・リコーダーや鍵盤ハーモニカの演奏に苦手意識を持っている児童が多い。
- ・鑑賞では、聴き取ったこと、感じたことを言葉で表現することが苦手な児童が多い。
- ・自分たちの音楽表現に、思いや考えをもつ子が少ない。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・大きく、美しい発声を心掛け、頭声発声を意識して歌唱に取り組む。 ・鍵盤ハーモニカを演奏する際の指使いを定着させる。 ・リズム、拍、音色、強弱など、音楽を作り出す要素を丁寧に解説し、理解させる。	・音楽表現を考えて、表現に対する思いをもつことを意識させる。	・学年に応じた知識・技能を定着させ、それらを生かしてして音楽を楽しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かにしようとする態度を養う。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・常時活動を通して頭声発声を意識させ、響きのある歌声を身に付ける。 ・簡単な曲から取り組み、リコーダーの正しい息の使い方や指使いを定着させる。 ・リズム、拍、音色、強弱など、音楽を作り出す要素を理解し、曲や演奏の良さを見出す。	・自分の音や演奏を客観的に聴く意識をもち、どうしたらより良い演奏ができるか、考える力を育む。	・学年や、個に応じた知識・技能を定着させ、それらを生かしてすすんで音楽に関わる。 ・協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしようとする態度を養う。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・常時活動を通して頭声発声を意識させ、響きのある歌声を身に付ける。2部合唱のハーモニーを感じることを意識して歌唱に取り組む。 ・児童1人1人の能力に応じたリコーダーの指導を行い、息遣いや音穴のふさぎ方などを確認していく。 ・リズム、拍、音色、強弱など、音楽を作り出す要素を理解し、聴き取ったことと感じ取ったことの関わりを考える。	・模範演奏と比較して、自分たちの音や演奏を客観的に聴く意識をもち、どうしたらより良い演奏ができるか、考える力を育む。	・学年や、個に応じた知識・技能を定着させ、それらを生かして主体的に音楽に関わる。 ・協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしようとする態度を養う。